

2019年2月13日

各位

会社名 KYB株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長執行役員 中島 康輔
 (コード番号 7242 東証第1部)
 問合せ先 常務執行役員経理本部長 國原 修
 (TEL 03-3435-3541)

**免震・制振用オイルダンパーに係る製品保証引当金の計上及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

2019年3月期の通期の連結業績予想について下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 修正の内容

(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	セグメント利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想(A) (2018年12月19日)	百万円 416,000	百万円 21,300	百万円 △1,800	百万円 △3,000	百万円 △3,700	百万円 △4,200	円 △164.42
今回修正予想(B)	416,000	21,300	△12,000	△12,900	△9,500	△10,000	△391.48
増減額(B-A)	—	—	△10,200	△9,900	△5,800	△5,800	—
増減率(%)	—	—	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2018年3月期)	393,743	22,949	20,885	20,881	15,786	15,202	595.09

(2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において、免震・制振用オイルダンパーに係る製品保証引当金に関し、「その他の費用」として113億75百万円の積み増しを行いました。(そのうち12月19日の前回発表時点で25億円を見込んでおりましたので、業績への追加影響額は88億75百万円となります。)

加えて、当第3四半期連結累計期間において、ダンパー関連の製品保証対策費として既に発生したものについて9億82百万円を「その他の費用」として計上いたしました。これに伴い、営業利益は前回発表予想を102億円下回る見込みとなりました。当期利益につきましては、上記「その他の費用」の増加に伴い税金費用の減少が見込まれることから、58億円の下方修正をいたします。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。免震・制振用オイルダンパーに係る製品保証引当金につきましては、現時点において信頼性のある見積りが可能な費用についてのみ計上しております。なお、本件の今後の進捗により、これらに関連して発生する当該交換用製品の交換工事に要する費用及び交換工事の実施に

伴って発生する補償等の付随費用について信頼性のある見積りが可能となった時点で当社の連結業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

以 上